

発行

株式会社 エスクリエイト

名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階

TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699

URL: <http://screate-soft.co.jp/>

担当: コンサルタント 石垣 智博

tomhiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

## 「資格取得者を増やすには？」

新年度が始まりました。新入社員が入ってくる会社もあると思います。新人同様フレッシュな気分で仕事を進めたいですね。今月は経営資源の「ヒト」に関する内容となります。最後までお付き合いください。

### ◆資格取得の意義

弊社ホームページのブログに「ブログ管理人の独り言」というコーナーがあります。そこに「資格取得の意義」を以前掲載しました。以下囲み記事参照ください。

おはようございます。ブログ管理人です。

最近お客様と資格取得に関して話題になりました。

「若いころは資格を持っていないくも、『資格持ってる』＝『仕事ができる』とはならないという考えを持っていたし、能力・実力・経験で仕事をしてきた。だから資格取得に関して何とも思わなかった。

しかし、会社の外にでると、自分のバックボーンを証明するものがないので困ることがある。いくら『プロジェクト管理できます』『プログラムできます』『DB設計できます』といっても、それを証明するのが難しい。資格をもっているとアピールしやすいからね。」と仰っていました。

資格はスキルアップの為に取得するという感覚が強くなりましたが、実力の証明の為に取るという目的もあるんだ。と再認識しました。

確かに、会社営業の視点でも、単純に資格取得者が沢山いる会社とあまりいない会社ではアピール力は違います。

個人の視点でも、「努力できる人」「頭がいい人」だけでなく「その分野で一定の知識がある人」という評価ももらえますよね。

最近景気が悪いので資格取得を考える方が増えてきたという話も聞きますが、弊社の中では資格の勉強をしているという話はあまり聞かないかな～。

如何に資格取得者を増やしていくか？面白いテーマですね。

引き続き、エスクリエイト通信4月号に掲載したいと思います。

ではでは

ブログ管理人

いくら会社が「資格を取得しろ！」「資格手当もあるぞ！」といっても資格取得が増えるわけではありません。もちろん特定業種では資格がないと仕事ができないということもあり資格取得すること業務の一環という会社もありますがそれは例外としてください。

そもそも会社がなぜ資格取得者を増やしたいのか？ということをはっきりさせる必要があります。以前流行った「自己啓発を促すという社員教育の一環」で資格取得を推奨した企業も多くあったが、あまり上手くいかなかったと聞いたことがあります。社員の啓発の内容と会社業務の内容が必ずしもリンクしていなく、業務でその効果が表れなかったこともあったようです。また、自己啓発を行う社員は元々モチベーションが高い社員で、そうでない社員は自己啓発をしておらずモチベーション向上に対しても効果が出なかったようです。

さらに社員育成が自己啓発だけだと社員に任せっきりで会社として社員を育成していないことになってしまいます。

なぜ会社は資格取得者を増やしたいのか？

①社員の能力を引き上げたい。

効果例：仕事の品質向上・効率向上

②社員のモチベーションを高めたい。

効果例：社員の自立・自律の醸成、仕事効率向上

③会社の営業力を強化したい。

効果例：社員・会社の能力を「見える化」

：

など、色々考えられますが、経営者が描くイメージは、「社員が仕事及び仕事外で研鑽し、絶えず新しいことにトライし、職場と社員が生き生きし、社員が成長し、次々と提案と実行がされ、PDCAも上手く回って、それら社員のおかげで会社も成長していく」というようなバラ色をイメージしていると思います。

それを成し遂げる原動力の1つとしてヒトを活性化させる必要があります。

今月は、この続きとなります。

経営者は描いたそのイメージをどのように現実にしていくのかを考えます。資格取得はあくまでも方法ですが、そのイメージする姿を成し遂げるために資格取得が必要ならおおいに推奨しましょう。

#### ◆資格取得は個人の意識を良い方向に変える

資格取得は体系だった知識を得られると共に、資格取得は個人の意識を変えます。合格後の達成感と喜び、合格後に見える景色の違い、取得した資格を仕事に活かそうする姿勢、さらに上位資格を狙っていこうとする前向きな姿勢…など良い効果が得られます。

特に難関資格と言われる資格には、その資格取得者が集まる協会・研究会など「集まる場」がありそれに参加することで有益な情報を得られることも多いです。また、前向きなメンバーが多い場所に参加することで得られる刺激は、仕事への意欲をかきたてるものにもなります。

#### ◆資格取得の推奨

多くの会社では資格手当(一時金含む)を付与していると思います。ただ、インセンティブだけでは資格取得者が増えていかない実情もあります。

推奨方法の1つとして、資格取得が個人を評価するものに位置づけることが考えられます。取得した際の評価は社員の満足度(ES)を高めることができるからです。例えば、全社員の前で表彰する。社内スキル基準で対象資格取得者は該当スキルが有ると認める。などの方策が考えられます。また取得を業務上の目標としたり、取得のために掛る費用を補助するのも有効です。

全社員が資格取得を目指し、全社員が合格する又は半分以上の社員が合格する。その後の会社をイメージすると、①社員の能力を引き上げたい。②モチベーションを高めたい。③営業力を強化したい…に近づいているのではないのでしょうか。

### 約74億円の賠償命令が下される(時事)

ずっと気にしていましたが、遂に第一審の判決ができました。それは、IBMとスルガ銀行のシステム開発に関する訴訟のことです。IBMに約74億円の賠償命令が下されました。(金利の支払いがあると思いますので実際はもっと多く支払うことになるはずです。)

判決理由を見てみないとわからないですが、判決理由の内容が気になります。大手の事例とはいえ、我々システム開発

ベンダーは知っておく必要があります。(まだ判決理由は公開されていないようです。)

昨今、システム開発に関する訴訟は増えています。仕様変更、開発工数の増大、瑕疵担保責任、機密保持に関するものなど様々な「もめ事」によるものです。それらの原因を知ること、裁判所の判断を知るとは、システム開発に関する注意点、契約に関する注意点を学ぶことができるからです。

今回の件は、もめ事を起こさない、起こされないことが、本当に大事だと再認識しました。

### 「本は考える為のサプリメント」(その12)

「本は考える為のサプリメント」です。考える為の知識を本から学び、日々のビジネス活動で活かそうという企画です。

今月ご紹介する本は、IBMの件もあり法律に関する書籍を紹介します。法律になじみがない人は法律と聞いただけでアレルギーをおこしますが、これからの社会ではそうも言ってもらえません。本書籍は法律を勉強する手始めとなります。経営者だけでなく管理者、ビジネスマンも知っておいてほしい内容が記載されています。また、法律系資格取得を目指す方にもお勧めです。



### 「ビジネスマンのための法令体質改善ブック」

(吉田 利宏)

この書籍は法令の読み方、読む際に注意するところ、法令の位置づけなどが記載されています。法令の一字一句に意味があることが理解できます。内容も難しくなくこれから「法律を勉強するぞ!」という方にはもってこいです。またこの書籍の素晴らしいところは、移り変わりの激しい法令を検索する方法も記載されており、日々の法務業務でも活かすことができる書籍です。付録も面白く「正しい送りがな辞典」が付いています(結構便利です)。手元に置いておきたい一冊だと思います。

### 編集後記

エスクリエイト通信を発行して1年経ちました。これからもどしどし情報や考えを提供していこうと思います。本年度もよろしく願いいたします。(石)

